



みなと

みなと 52号 2017年6月1日
 兵庫県声の図書赤十字奉仕団
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5
 日本赤十字社兵庫県支部内
 (Tel)078-241-9889 (Fax)078-241-6990
 代表者 田辺 依子
 編集者 八木 はるみ

平成 29 年度 声の図書赤十字奉仕団 総会

平成 29 年度総会は、4 月 16 日(日)10 時 30 分より 7 階大会議室にて開催されました。
 団員総数 126 名、出席者 48 名、委任状提出 70 名（総会当日受付総数）

支部より、逢坂事業部長、平野課長、伴仲課長補佐のご出席をいただきました。司会は古川直子さん（ことばの花束）、議長に本村和代さん（こすもす）を指名、平成 28 年度の活動報告、収支決算報告、監査報告の承認を得、続いて平成 29 年度の活動計画・予算（案）が提出され活発な議論がなされた後、承認を得て無事総会を終了しました。

任期満了の役員、委員長 久保田加奈女さん、副委員長 中山君子さん、会計監査 山田園代さんの 3 名は退任され、今年度の新役員に、委員長 田辺依子さん（ともしび）、副委員長 福井恵子さん（あかりの会）、会計監査 新田眞理子さん（そよかぜ）の 3 名が承認されました。

任期を終えられた久保田加奈女さん、中山君子さん、山田園代さん、2 年間（中山さんは 4 年間）の活動に感謝いたします。本当にお疲れ様でした。

平成 29 年度本部役員

委員長	田辺 依子	（ともしび）	新任
副委員長	福井 恵子	（あかりの会）	新任
副委員長	富沢 ナオキ	（ことばの花束）	留任
書記	八木 はるみ	（こすもす）	留任
会計	大下 操	（青年）	留任
会計監査	新田 眞理子	（そよかぜ）	新任

◆ よろしくお願ひします ◆

総会終了後、続いて懇親会が行われました。昨年の熊本地震本震から総会当日はちょうど 1 年目にあたり、昨年救護服姿で中座されました逢坂事業部長も、今年は懇親会にご参加いただきました。平野課長と異動してこられた伴仲課長補佐にもご挨拶を頂戴し、各テーブルに入っただき昼食を共にしました。今回はフリートークで和気あいあいとグループの枠を超えて対話が弾み、和やかな内に懇親会は終了しました。

支部の皆様、団員の皆様、今年度もどうぞ よろしくお願ひいたします。

前本部役員のひとつ

2年間で振り返って

以前、書記をお引き受けした時もそうでしたが、総会で2年間の役目を終えて退席する時は、安堵感で何とも言えないすっきりした気持ちになります。不安を抱きつつスタートしましたが、他の役員の方々や団員の皆様のご協力のもと頑張ることができました。ありがとうございました。

委員長としては、主に支部との調整を行いました。日赤の職員の方々や他の特別奉仕団員の顔も分かるようになり、声の図書奉仕団の活動を広い視野で捉えることができたように思います。やはり「責任」という言葉が常に頭の中にありましたが、勉強する機会を与えていただいたと感謝しております。また、グループの枠を超えてたくさんの方と知り合いになり、そこで大切な友を得ることができました。役員決めは、必ずどのグループにも回ってきます。前向きに考えて、是非チャレンジしてみてください。これからは一団員として声奉の活動を盛り立てていきたいと思っています。

久保田 加奈女 (はあもにい)



短かったような、長かったような 四年間！！
声奉五十周年・リスナー名簿管理・テープ作成の中止等々
色々な事がありました。

何も知らないまま役員を引き受けましたが、皆様から
様々な事を教えて頂き何とか無事に終える事が出来まし
た。

中山 君子 (神戸YWCA)



日赤に関わって間もない私が会計監査をさせていただき、
本部役員の仕事だけでなく、学校講習や交流会など色々な活動に
参加させていただき、本当に勉強になりました。

「見た目、元気」なだけが取り柄の私が楽しく過ごせたのも
他役員の方々が温かく見守って下さったお陰と感謝しています。

2年間、本当にありがとうございました。

山田 園代 (そよかぜ)



新本部役員のひとつ

年齢だけは人一倍重ねておりますが未熟な私に降って湧いた大役で、大変戸惑っております。

委員長の「チョウ」は調整役の「チョウ」と自分に言聞かせ、55年目に入りました声奉のあゆみが留まる事がないよう、皆さまのお力をお借りして微力ながら努めさせていただきたいと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。

委員長 田辺 依子（ともしび）

このたび分不相応にも副委員長を引き受けることになりました。ダイジー移行の時パソコンが使えるならと誘われ、声奉が何かも知らず無知のままそろそろ10年でしょうが成長はしていません。

私の出来ることは少ないですが、皆様のご指導とご協力のもと頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

副委員長 福井 恵子（あかりの会）

このたび、会計監査をお引き受けすることになりました。初めての経験で皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、何事にも前向きにチャレンジしたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

会計監査 新田 眞理子（そよかぜ）



支部事業部奉仕課職員 自己紹介

伴仲 正倫 奉仕課長補佐

4月より、兵庫県支部奉仕課長補佐を拝命しました伴仲と申します。平成19年度の一年間でしたが奉仕課で勤務をしておりました。今年度に行われた総会では懐かしい方々にお会いできまして嬉しく思っております。これからもボランティアの皆さまに教授を賜り、皆さまのお役に立てるように一生懸命努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

*** 伴仲様、10年ぶりに奉仕課に戻ってこられましたこと嬉しく存じます。
また色々とお世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。***



声の図書赤十字奉仕団グループ紹介 ～声奉グループ・団員だより～

「あかりの会」

私たちは神戸市立シルバーカレッジ卒業生が主体のグループです。在学中に視覚障害の方に何かサポート出来る事はないかということで先輩が「あかりの会」を結成したのが平成9年です。

初めは障害者の方々のハイキングやミカン狩りなどに随行していました。垂水の県立視覚障害特別支援学校を訪問し、何かお手伝いできることはないかと伺ったところ、朗読をやってほしいと言われ、婦人会館とか、しあわせの村の研修会館等で朗読の勉強を始めました。

指導者の先生から勧められて日赤声の図書奉仕団に2003年7月21日 会員18名で入団させていただきました。高齢者の多いグループですので、体調が悪くなって退会する人が増え現在活動出来る人数が少なくなっています。

花時計の取材を兼ねてランチで楽しい時間を過ごし、出来上がった時には、打ち上げで盛り上がり和気相合のグループですが、不安要素もあり、他のグループの方皆様にいろいろお世話になりながら何とか続けることが出来ています。

これからもよろしく願いいたします。

淡路 忠義 (あかりの会)

デイジー班



デイジーってなんのこと？花の名前？「声のアルバム」の愛称？

いえいえ、デイジーはDAISYで、Digital Accessible Information SYstem、カタカナで書いてしまうと、デジタル アクセシブル インフォメーション システムの略なんです。日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されています。アクセシブルとは Web の世界でも重要な「使い勝手の良い」という意味です。おもな特徴として私たちの活動に関係のあるものをあげると、

1. 目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる。
2. MP3 などの圧縮技術で 1 枚の CD に 50 時間以上も収録できる。などがあります。

あの小さな円盤に 50 時間ものデータが収録できるんですね。そして好きな所に飛んで行ける・・・なるほど使い勝手がいいということがわかりますし、今となっては必須だと思えます。

Windows95 の発売とともにインターネットが一般に普及するのですが、その少しあとにデイジーも使われるようになり、カセットテープからデイジーへと移行して行きます。最初のデイジー規格は 1994 年にスウェーデンで特許を得ました。1997 年には DAISY コンソーシアムという団体がオープン規格を採用し、デイジーは進化を続け、現在も開発計画が進行中だそうです。我が声の図書奉仕団のデイジー製作は「声のアルバム」をカセットテープとの併用で始め、一昨年デイジーCD のみの発送になって 2 年足らず、というところですよ。

こんなに使い勝手のいいデイジーですが、その製作過程には様々な難所があります。注意深く「よけいなもの」をマイスタジオやサウンドエンジンというソフトウェアを使って取り除き、音量を揃え、「間」を加減し、次にラジオラインで場面にぴったりの音楽を乗せて、これでよし、というところまで持っていかなければなりません。編集の第一段階は不要な部分の切り貼りや、間を縮めたり加えたりの連続で、実に地道な作業の繰り返しです。第二段階は、音声と音楽の合成で、センスの間われる楽しい作業です。音声にうまく音楽が乗ることで雰囲気が上がって行きます。こうして作ったデータをマイスタジオを使ってデイジー規格にインポートして、ようやくデイジー図書としてできあがります。

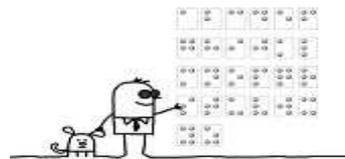
デイジーの、聴きたいところに飛んで行ける、という機能のおかげで、聴ける範囲が大きく広がったであろうと考えると、大変意義のある発明ですね。また、無償提供されているのもありがたいことです。デイジー班では 2 か月に一度のミーティングで課題を共有し、試行錯誤を繰り返しながら、リスナーの皆様により良いものをお届けしようと奮闘しています。

参考：(公財) 日本障害者リハビリテーション協会

前川 芳子 (ともしび)

点字班

と一緒に点字を学びませんか



4月の総会も終わり点字班の皆様と気持ちも新たに取り組んでいます。

去年は大きな柱の福井さんと本川さんのお二人が急逝され、悲しみと戸惑いで心痛む日々を過ごしていました。時間は止まることはなく、六甲山は11月には紅葉し、2月には雪を抱き、5月は新緑に萌えます。その新緑の清々しさに気付いた時、自然の営みの中に私も存在しているのだと思うことができました。

点字班に入り、朗読とは違う体験をさせて頂いております。

6点のみで表す点字は間違いも起こしやすく、そのため2回3回と校正を繰り返します。誤字・脱字は正しくリスナーさんに伝わりません。6月発行のデイジー単行図書目録や交流会のプログラムまたリスナーさんへの依頼のお手紙など間違いの無いよう、丁寧に取り組みたいと思います。

学校講習は元気パワーをもらえる小学生に会えるのが何より嬉しく、前日からワクワクします。また45分の授業ではできるだけ多くの子供たちの点字を読み、間違いに早く気付いてあげなければなりません。そのため予習をしっかりと参加いたします。子供たちが初めて手にする点字板と点筆。点筆を持つ手はぎこちなく、点字板の小さな1マスの中にある6つのくぼみ凹に点筆の先があたりません。でも「め」（6つの点）を3回書いてもらうとくぼみの位置もわかるようになり、プチプチという点字を書く時の音にも興味を持ってくるようです。感想も書いてもらいますが、その時は50音表と格闘しています。その点字を読んであげ「上手に書けましたね」と言うと、はにかんだ笑顔がとても可愛いのです。緊張がほぐれたお互いに幸せな瞬間です。

今年度は6月13日（火曜日・13時～14時30分）に声の図書奉仕団の皆様に向けて点字の講習会を開催致します。学校講習と同じように、50音・数字の書き方を説明後、名前や感想を書いていただく等を検討しています。点字と触れ合いませんか。ご参加下さ～い。よろしくお願い致します。

例会は第2火曜日の10時からですが、毎月点字文の読み書きを学習しています。点字器・点字タイプライター・パソコン等、各自選択して練習します。月1度だけですが繰り返す事で身につく言葉なのかなと思います。脳トレに点字の学習はいかがでしょうか。よかったら一度見学に来られませんか。お待ちしております。

今年も代表をいたします。草木を愛でるゆとりを持ちつつ頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

門田 真弓美 （ことばの花束）

単行図書検討会



平成 28 年度 単行図書貸し出しランキング表

2016.4.1～2017.3.31

順位	書名	著者名	貸し出し開始日	回数
1	虹の岬の喫茶店	森沢 明夫	2016.04..28	13
2	あの家に暮らす四人の女	三浦 しをん	2016.08.30	9
	夜明けの街で	東野 圭吾	2016.08.18	9
4	神様からの宿題	山本育美、山本智子	2016.04.14	8
	財布のつぶやき	群 ようこ	2013.07.13	8
6	ダブルファンタジー(上下)	村山 由佳	2016.08.04	7
	火花	又吉 直樹	2015.12.10	7
8	老いの才覚	曾野 綾子	2011.08.11	6
	男のおばあさん	永 六輔	2014.04.24	6
	精霊の守り人	上橋 菜穂子	2015.10.01	6
	八朔の雪	高田 郁	2013.11.07	6
	闇の穴	藤沢 周平	2012.09.12	6
	昨夜のカレー 明日のパン	木皿 泉	2014.11.19	6

28年度の貸し出し状況をお知らせいたします。

これら上位の本は映画やドラマになったり、文学賞受賞作品など、話題の作品が多く見られます。話題の本はなるべく早くリスナーにお届けしたいと思いますので、録音図書製作にますますのご協力をよろしくお願いいたします。

中原 昌代 (ことばの花束)

朗読・音訳を見直す会



新年度が始まり、リスナーの方々へよりよい録音製作を届けられるよう、心新たに身を引き締めて活動していきたいと思っています。

今年度も団員の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

活動日は毎年度、奇数月の第3水曜日、今年は5月17日からのスタートです。活動として主に、読み方（朗読・音訳資料）のまとめ、PHP 誌の試聴、朗読と校正の勉強会そして、今年度はリスナーの方々と読み等について話し合いを持つ事…です。

既に、今年の年号の読み方や「録音図書製作マニュアル 第2版」の訂正（PHP 誌の表紙の裏ページに掲載「PHP とは」の録音）や追加等については、周知されている事と思います。

ですがここにもう一度、記載させていただきます。

- I. 平成29年 ヘイセイニジュウクネン と読む
2017年 ニセンジュウナナネン と読む

（声のアルバムで統一の読みとしましたが、「9」については、数助詞の個や才、冊、階、ページ…等はキュウと読む。また西暦や年号は、聞きなれた読みとする）

- II. PHP 誌の「PHP とは」説明の録音は、年に一回（1月号で）読む

- III. PHP 研究所 PHP ケンキュウショ と読む

- IV. 「(笑い)」の読み方

選択肢として、「読まない」もある

聴衆が笑っている場合は、わらいと読んでも良い

自分が笑っている場合は、笑いながら言う 笑い声を入れても良い

かっこわらいと読むこともある

- V. 蔵書として、アクセント辞典「NHK 日本語発音アクセント新辞典」が追加されました

- VI. 「単行図書ダイジ編集について」のプリント一枚（両面）が単行図書検討会から出されました 「録音図書製作マニュアル 第2版」に挟み、活用してください

以上です。



リスナーだより



花時計2月号、不思議なそれでいてどこか優しい
童話ありがとうございました。宮沢賢治の小説は
ゼロ弾きゴーシュ、注文の多い料理店、風の又三郎
等、読んだり聞いたりしました。

この冬は厳しいです。風邪ご用心下さい。

3.21 新阜 義弘さん(千山荘)



何時も有難うございます。年も今年で92才
を迎えます。今後ともよろしく。

目が見えにくいので失礼します。

3.28 広瀬 朝子さん



この度も有益な情報、勉強になる情報、心温まる
情報、ありがとうございます。まだ、冬の名残りが
あります。冬は長いですね。風邪ご用心下さい。

いろいろな本、そのうちに希望したいと思います。
春が短くなりましたね。4月になったら暖かくなると
思います。

4.03 香山 良樹さん



リスナーだより



PHP 3月号、聴きました。大阪ことばの あそび歌ですが、いろいろ あるものだし、聞いたことのないことばが多いものだなと思いました。“いきる” や特集のインタビューコーナーや、特に特別企画はためになりました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

いつも盛りだくさんで、読者の投稿作品も多いのでバラエティーに富み、こんな雑誌が毎月あるとは知りませんでした。これからも楽しみです。いろんな内容でお堅いものもありますが、芸能界の方とかにもインタビューされて、その人となりも改めて知ることができました。

今後ともいい雑誌をよろしくお願いします。

4.17 中原 真理子さん

花時計 4月号を聴かせていただきました。桜が九つも種類があるとは知らなかった。ミュージックカフェですが、いい季節の桜の歌って、こんなに多いのだなと思ったし、しかも知っている歌が多いので良かったです。歌と桜がなぜ合うのかと不思議に思います。1200 曲もあるなんて驚きましたね。メドレーコーナーもとても良かったですよ。

また、音楽で何か特集してほしいですね。暗い歌もあれば、明るい歌もありますね。“はあもにい” らしいプログラムだと思いましたね。

5.08 中原 真理子さん

編集後記

『みなと』52号お届けします。新たに「声奉グループ・団員だより」を掲載しました。これからも、できればより多くの声奉団員の声をお届けしたいと思います。ご意見・ご要望などございましたら、編集者まで宜しく願いいたします。

(八木)